

緊急要請書

全国原子力発電所所在市町村協議会

緊急要請書

今回の東北地方太平洋沖地震に起因する福島第一原子力発電所事故により、町機能ごと県内外に集団避難を余儀なくされる事態となり、原子力発電所の安全確保に一元的責任を有する国を信頼してきた立地市町村として大変強い衝撃を受けている。

原子力発電所は安全確保が大前提であり、住民の安全安心確保は如何なる事態においても揺るぐことのない第一条件である。

しかしながら、同発電所においては、「冷やす」、「閉じ込める」の安全機能の喪失、放射性物質の外部放出により、住民の被ばく、飲料水や農作物の汚染など周辺住民に極めて重大な原子力災害をもたらし、原子力発電所が立地する住民はもとより全国民に大きな不安を与えている。

従って、次の事項について早急に取り組み、国が責任を持って住民、国民の安全安心確保に万全を期すよう強く要請する。

平成23年4月4日

全国原子力発電所所在市町村協議会
会長 敦賀市長 河瀬 一 治

【要請事項】

1 原子力災害の収束

福島第一原子力発電所事故について、国・事業者は総力を挙げて一刻も早く事態を収束させ、原子力災害規模の拡大を防ぐこと

1 緊急安全対策の実施

国は、現在までに得られた知見を反映した以下の緊急安全対策の実施状況を早期に確認し、その結果を住民に説明する責任を確実に果たすこと

(1) 安全上重要な設備の特別点検

全ての原子力発電所について、定期検査等における特別点検の実施により、安全設備の機能を確認すること

(2) 電源の確保

緊急時の電源喪失に備えた代替電源を確保し、災害の影響を受けないよう配備すること

(3) 原子炉の冷却機能確保

緊急時の冷却機能喪失に備えた海水ポンプを確保し、災害の影響を受けないよう配備すること

(4) 使用済燃料プールの冷却

使用済燃料プールの冷却水供給系統の更なる多重化を行うこと

(5) 緊急時を想定した訓練の強化

今回の事故を踏まえた訓練を継続的に実施し、緊急時に機動的に対応できる体制を強化すること

1 徹底的な原因究明と対策

原子力災害に至った徹底的な原因究明と情報開示、安全指針の抜本的な見直し、再発防止策の実施を早期に行い、全国の原子力発電所の安全確保に万全を期すこと

1 住民の安全安心確保

如何なる事態においても、原子力発電所の「止める」、「冷やす」、「閉じ込める」の安全機能を維持し、住民の安全を確実に確保すること

原子力発電所の情報については、正確かつ迅速な開示、住民の不安に応える発信を行い、住民の安心を確保すること

1 被災地の復興支援

一日も早い被災地の復旧・復興に全力を挙げるため、国の全面的支援を中心に、短期・中期・長期の復興支援策を明示し、被災地支援が継続して実施される体制を早期に構築すること

1 風評被害の防止

適切かつ丁寧な原子力広報を行い、国民の原子力に対する不安を速やかに解消し、立地地域に対する風評被害を未然に防止すること

1 防災指針の抜本的な見直し

複合災害においても、防災体制が有効に機能するよう防災指針の抜本的な見直しを行うこと

(1) 防災体制の強化

今回実施した防護対策の検証を早急に行い、より実効的な避難誘導のあり方について立地市町村の意向を尊重しながら検討するとともに、オフサイトセンターのソフト・ハード面の機能強化を行うこと

(2) 避難・アクセス道路の確保

立地市町村にとって重要な速やかに住民避難が実施可能な道路、緊急時支援要員等が確実に発電所にアクセスできる道路を早期に整備すること